

## 新疆師範大学（中国）と大学間交流協定を締結

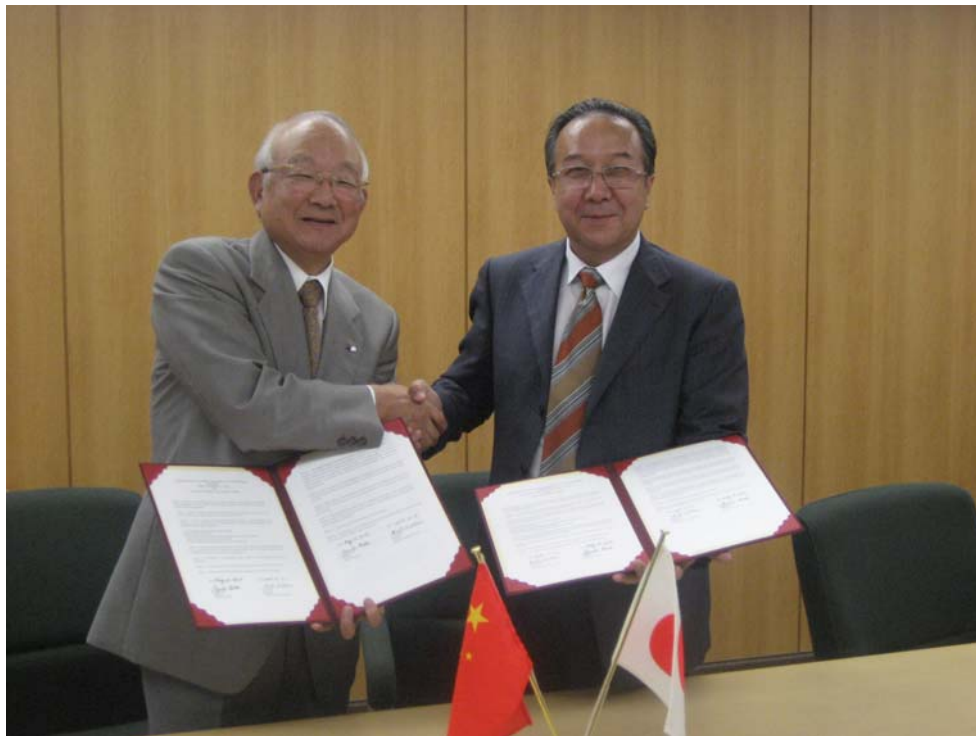
平成22年5月10日（月）、千葉大学と新疆師範大学は大学間交流協定を締結した。

新疆師範大学は1978年に創立され、新疆ウイグル地区のウルムチ市にある。学生数は15,000人で、教育学部のほか法経学部、人文学部、数理情報学部、生命・環境学部などから構成されている。

新疆ウイグル地区はリモートセンシング研究の分野では活発に研究が行われているフィールドで、新疆師範大学と千葉大学環境リモートセンシング研究センターとの間では以前から交流が続いていた。

調印に先立ち、同大学AZAT SULTAN 学長一行6名（ZHANG BING国際交流所長、HUA JIN MU研究生所長、MA FENG QIANG科研所長、Alimjiang Kasimu博士：千葉大学卒業生、NADILA ABUDUREHEMAN国際交流所職員）が齋藤学長を表敬訪問し、両大学の現状および今後の交流等について終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われた。

続いて行われた調印式では、新疆師範大学一行と千葉大学の北村理事、安藤副理事、建石教授、新倉教授、魯准教授が見守る中、AZAT SULTAN学長と齋藤学長が協定書へ署名し、無事、大学間交流協定締結となった。



写真右：AZAT SULTAN 学長